

本時のねらい：小数÷整数の計算の意味を理解し、立式し、0.1を基にして0.1のいくつかを考えると計算できることがわかる。(4/13)

本時の展開

過程	学 習 活 動	児童が自ら学びとるために 学ぶ楽しさに関わって
素材提示 (2分)	T:本時の素材を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">7.2 の牛にゆうを、3つの容器に等分します。 1つ分は何でしょう。</div>	場面を捉えやすいように7.2分の牛乳と3つの容器のモデルを用意。問題文の分かっていることには、青のアンダーライン、求めることには、赤のアンダーラインを引かせる。
課題化 (5分)	T:「どんな計算をすればいいか証拠をはっきりさせて、いいなさい。」と問う。 S:等分するので、わり算で $7.2 \div 3$ S:線分図でわり算になることを説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">小数÷整数の計算は、どんな考え方をするといいだろうか。</div>	立式の証拠をはっきりさせることで、この問題のできごとは、小数÷整数の計算になることを捉えさせる。(ペアで考える)
課題追求 個で (7分)	T:「どう、やれそう?」と問い、見通しの確認をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">S1: (0.1円玉を使って考える) 7.2は0.1の72個分。 72を3でわると24。 これは、0.1が24のことなので、2.4。答えは2.4。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">S2: (考え方) 0.1をもとにすると7.2は0.1の72個分。 72を3でわると24。 これは、0.1が24のことなので、2.4。答えは2.4</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">S3: (考え方) 7.2を7と0.2に分ける。 まず、<math>7 \div 3 = 2</math>あまり1をする。あまりの1と0.2で1.2。 <math>1.2 \div 3</math>を考えると、1.2は、0.1をもとにすると、0.1の12個分。 <math>12 \div 3 = 4</math>。この4は、0.1の4つ分だから<math>1.2 \div 3 = 0.4</math> 2と0.4を合わせて、2.4。</div> </div>	小数の計算のわり算山の登山が始まった。という意識をもたせ、努力して登りきろうとする意欲をもたせる。 小数÷整数の計算をするためには、どんな見方・考え方をすればいいのかを考えさせる。 0.1円玉を準備しておく。 しばらく取り組ませたあと、児童の取り組みを把握し、つまずきに合わせた次のようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">思考が行き詰った児童には、小数×整数の初めての時間を想起させる。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">0.1をもとにして考え<math>72 \div 3</math>をすることまでに気づけたが、<math>72 \div 3</math>がでつまずいている児童には、0時間目のノートを見させる。</div>
考え方の交流 準備 (5分)	T:考え方をA3紙に書かせる。	
考え方の交流 (10分)	T:どの考え方にも共通している考え方は?と問う。 S:0.1をもとにして、0.1のいくつかになるかを考えて計算している。	S3のような考えは、なかなかでない予想される。考えがもてて時間がある児童には、「7.2を7と0.2に分けて考えよう。」と書いた小紙片を渡す。 (ひらめかない時には、全体追求時、教師の考えという形で全体に示す。この考え方がわかることができる最大の数からわっていくというわり算の基本であり、次時の筆算形式につながるため)
類似題で試す (5分)	T:この考えで他のときにもできるかなあ? よし、 $2.8 \div 4$ をやってみてよ。(細かく書かなくてもいいよ)	共通している考え方を問うことで、0.1を基にして計算するとよいことを確認する。
まとめ (3分)	T:今日の学習のまとめをしよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">小数÷整数の計算は、0.1をもとにして0.1のいくつかになるかを考えると計算できる。</div>	自分の考えがもてたら、ペアで交流させる。  わり算山の登山には、0.1を基にして0.1のいくつかを考えるといいという旗を立てる。
練習問題 (5分)	T: $4.8 \div 6$ をやってみてよ。(細かく書かなくてもいいよ) S:挙手して、考えを発表する。	0.1を基にして考えるという部分を落とさないようにさせる。